

概要説明書

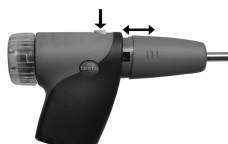
この概要説明書は、testo330燃焼排ガス分析計の重要な機能について、その概要を説明してあります。分析計を使用する前に必ずお読みいただき、説明を遵守してください。この概要説明書は、testo330-1LL および testo330-2LL について、カントリー・バージョンの設定を「Japan(ニッポン)」にしてあることを前提に説明しています。

デバイス接続部



- 1 **プローブ・ソケット**: プローブ接続は電源投入前に行ってください。また、プローブを交換したときは、一度電源を切って、再投入してください。
- 2 **排ガス・ソケット**: 排ガス・プローブの交換は、電源を切らなくても行えます。
- 3 **ACアダプタ・ソケット**
- 4 **圧カソケット**

プローブ・モジュールの交換



- 1 プローブ・ハンドルの頂上にあるボタンを押して、プローブ・モジュールを取り外します。
- 2 新しいプローブ・モジュールを取り付け、はめ込みます。

ドレンタンクの排水

! ドレンは弱い酸性液です。皮膚に付着しないようご注意ください。また、ドレンがハウジング内に溢れ出ないようご注意ください。



ポンプが作動しているときは、ドレン・タンクの排水を行わないでください。



- 1 ドレン・タンクのドレン排水口が上になるようにして、分析計を持ちます。
- 2 ドレン排水口を開けます: これ以上開かない位置まで排水口を引き上げます。5mm位開きます。(①)



②

- 3 分析計を逆さにして、ドレンを洗面台などに捨てます。
- 4 布などでドレン排水口まわりの水滴を拭き取ります。
- 5 ドレン排水口を元どりに閉めます。

❗ ドレン排水口を完全に閉めてください。(マークの位置まで) 密閉されないと、分析計内に空気が混入し、正確な計測ができません。

キーの機能

- ▶ 分析計の電源オン/オフ:
- ▶ 戻る、キャンセル機能:
- ▶ クリップボードにデータ保存: → (クリップボードへ保存が可能なときだけ使用可能)
- ▶ データ保存: → (クリップボードへ保存が可能なときだけ使用可能)クリップボード内のデータも保存される)
- ▶ データのプリント: (印刷が可能なときだけ使用可能。使用するプリンタが使用可能な状態ででなければならない) クリップボードの中のデータも印刷されます。
- ▶ 機能の呼び出し: 機能を選択: 、 そして選択を確定:

値の入力

リスト・フィールド:

- 1 値を選択 (数値、単位): 、 そして設定: 、
- 2 入力の確認:

インプット・エディタ:

- 1 数値 (文字) を選択: 、 そして設定: 、
- 2 数値を確認:
- 3 数値を保存:


スモーク・ポンプ番号/ スモーク・ナンバー/ オイル付着 / ヒートキャリア温度の入力

- 1 → ソクテイ → → スモーク・ナンバー/ HCT →
- ステップ 2 ~ 4 は燃料にオイルを選択した場合のみ。
- 2 スモーク・ポンプ・ナンバー → → スモーク・ポンプ・ナンバーを入力 →
 - 3 他のスモーク・ナンバーやオイル付着についても同様な操作を行う。
 - 4 HC オンド → → 値を入力 →
 - 5 設定値の保存: →


ドラフト圧計測

ドラフト圧の計測には、排ガス・プローブの接続が必要です。


分析計の圧力ソケットはフリーにしてください。(圧力を印加せず、塞がない)

- 1  → ソクテイ オプション → → →
- 2 計測を開始:
- 圧力センサのゼロ調整が行われます。(約10秒間)
- 3 排ガス・プローブのパイプを排ガス・ダクト内のホット・スポット(最高温度地点)に挿入します。(排ガス温度が最も高温を示す位置にプローブ先端を配置します)ディスプレイに排ガス最高温度(FT max)が表示されますので、それを参照し、最高温度を示す場所にプローブを配置してください。
- 計測値が表示されます。
- 4 計測を終了:
- 5 計測値をクリップボードに保存: → /


排ガス計測

- 1  → ソクテイ オプション → → →
- 電源投入後、排ガス計測を初めて行うと計測セルのゼロ調整が行われます(約30秒間)
- 2 燃料を選択 →
- 3 計測を開始:
- 4 計測を終了:
- 5 計測値をクリップボードに保存: → /

新しいロケーション(計測場所)の作成

- 1  → フォルダ/ロケーション →
- 2 → シンキ ロケーション →
- 3 ロケーションを選択:
- 4 新しいロケーション名を入力 →
- 5 他にも新規ロケーションの作成が必要ななら、3と4の操作を繰り返します。
- 6

ロケーション(計測場所)のアクティブ化

- 1  → フォルダ/ロケーション →
- 2 ロケーションを選択 →
- 選択されたロケーションがアクティブになり、「ソクテイ オプション」メニュー画面が開きます。

